

# つむいだ わたしのこえ

## 脳性まひの20歳女性 詩集が完成



⑤詩集をつくった堀江菜穂子さん＝東京都板橋区、川村直子撮影⑥堀江菜穂子さんの詩集「さくらのこえ」



### ◆あるがまま

いまのじぶんは いまのまま  
 いまのままよりもっとよくみせたいと だれもがおもう  
 でもよくみせようとすると へんになる  
 ほんとうのすがたとは かけはなれてしま  
 い  
 もはやじぶんではない  
 あるがままのじぶんをうけいれる ゆうき  
 をもとう  
 じっさいのじぶんそのものを あいそ  
 う  
 (2014年8月14日)

### ◆わくわくどきどき

わくわくしてても ドキドキしてても  
 わすれちゃいけないことがある  
 それはいつもありがとう  
 たのしすぎると わすれがちだけれど  
 みんなこれもだれかの おかげ  
 わくわくしててもわすれない  
 ドキドキしててもわすれない  
 そのかんしゃのきもちがまた  
 つぎのわくわくドキドキを つれてくるよ  
 (9月6日)

### ◆こまったこと

こまったことがたくさんあっても  
 たくさんのおかげにかわる  
 いまはつらくてこんなでもね  
 きっとあなたのたからものになる  
 だからゆっくりがまんして  
 のりこえたなら  
 まえよりおおきな あなたになれる  
 (9月28日)

脳性まひのため寝たきりのベ  
 ッドで詩を書き続けている女性  
 の詩集が完成した。全51編。昨  
 秋に二十歳を迎え、ボランティア  
 アの協力により仕上がった。  
 「わたしのしをよむすべての人  
 たちに わたしがたちなおった  
 ように あきらめずにいきても  
 らいたい」。末尾に記した詩は、  
 読み手にこう呼びかけている。

東京都板橋区の自宅で両親と  
 暮らす堀江菜穂子さん。手足は  
 ほとんど動かず、言葉は話せな  
 い。特別支援学校の高等部時代  
 からノートに詩を記してきた。

4月に朝日新聞で堀江さんの  
 詩作を紹介。詩集を望む声が高  
 まっていた。ボランティアで詩  
 集の編集作業をした東京都目黒  
 区の佐藤昌子さん(76)は堀江さ  
 んの詩について、「たくましさ  
 と明るさを感じる。多くの人に知  
 ってほしいと思った」という。  
 A5判で57頁。1千部を発行  
 した。税込み500円で、別途  
 送料が必要。  
 問い合わせは、佐藤さんが理  
 事長を務めるNPO法人関東シ  
 ニアライフアドバイザー協会  
 (03・3495・4283)。  
 協会ホームページ(<http://kanto-sla.com/>)でも申し込  
 める。(北村有樹子)

### 模擬原爆

米軍が広島と長  
 る前後の45年7～  
 撃機が正確に照準  
 の「訓練」として  
 標地を実際に破壊  
 員に高揚感を与え  
 される。長崎に投  
 ウム型原爆「ファ  
 型、同じ重量(が  
 が、中身は通常爆  
 形から「パンプミ  
 意)」と呼ばれた

## 被害



大阪市の集会では模擬原爆が  
 投下された地域の人たちが意見  
 を交わした18日、同市中央区



路地に立つ模擬原  
 爆被害者の慰霊碑  
 東住吉区田辺1